

個人質問

<p>詫間 茂 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険税について ●後期高齢者医療について ・パークエクササイズについて ・買い物難民に対する国・県・市の支援体制について
<p>井上 浩司 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●廃屋の行政としての取り組みについて ・自治体の債権管理について ・胃がん予防対策について
<p>大平 直昭 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震対策について ●消防団の安全対策について ・公共施設の災害対策及び省電力化について
<p>黒川 健太郎 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市職員の管理職任命と職員研修について ・観音寺中学校の通学路の安全確保について
<p>伊丹 準二 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地・空き家対策について ・競輪事業の今後について ・入札について ●公共施設の運営について ・行財政改革について
<p>岡田 正徳 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●農業振興地域の見直しについて
<p>石山 秀和 (公明党)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について ・競輪事業について ・地域サロンについて ・環境対策・エコキャップ回収について ●産業育成を目的とした市認証制度の創設について ・綿によるまちおこしについて
<p>安藤 康次 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例について ●学校給食の民営化について ・観音寺市の「中心市宣言」について
<p>立石 隆男 (民政クラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防災対策について
<p>高橋 照雄 (無所属)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉について ・教育問題について ・財政について ・ごみ処理について ・市有財産の処分について ●防災について
<p>五味 伸亮 (市民フォーラム)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の政治姿勢について ・市役所、支所の防犯について ・改正NPO法について ●フェイスブック・ツイッターの導入について ・市民会館の運営方法及び中心市街地の活性化について

●印については、質問と答弁の内容を次ページ以降に掲載しています。

3月定例会の主な内容

一般会計予算など原案可決

1日招集・会期26日間

平成24年第1回定例会が3月1日招集され、26日までの26日間の会期で開かれました。白川市長から平成24年度一般会計の予算として、歳入・歳出予算の総額242億9千万円を計上することなど合わせて31議案が提出され、議案の提案理由の説明がありました。

また、8・9日の2日間、各党派・党の代表質問と個人質問が行われ、市当局の考えをたどりました。

当初予算と補正予算の議案は、予算審査特別委員会に付託され12日から15日にかけて慎重に審議を行いました。その他の議案は、それぞれの各常任委員会に付託され、19・21日の2日間慎重に審議を行いました。

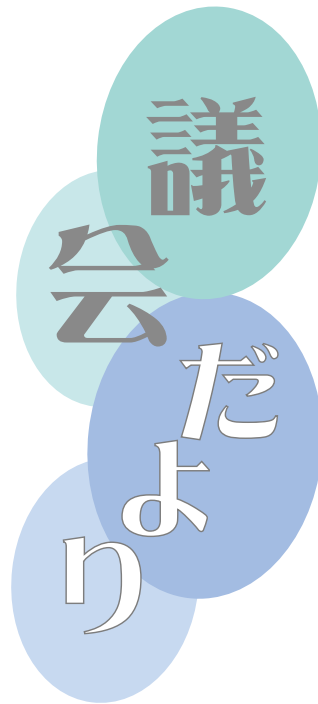
本会議では、各常任委員会の委員長から付託された議案などの審議結果の報告があり、採決の結果すべての市長提出議案を原案のとおり可決しました。

その後、副市長の選任についての追加議案の提出があり、全員一致で同意しました。

また、請願1件、陳情2件、意見書案1件は、15ページ「審議した議案等とその結果」とおりのりです。

3月定例会で次のとおり副市長の選任に同意しました

○副市長 富田 幾夫 観音寺市柞田町



3月定例会の主な内容

一般質問

審議した議案等とその結果

代表質問

一般質問項目表

<p>民政クラブ 秋山 忠敏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施政方針について ・平成23年度決算見込みについて ・平成24年度予算編成について ・行財政改革について ・公共施設等の整備について ・国民健康保険と介護保険サービスについて ・競争力のある農業経営について ・香川県農業協同組合と香川豊南農業協同組合の合併について ・カラスによる被害と悪臭対策について ●学校再編計画について ・学校給食の民間委託について ・食育について
<p>市民クラブ 大久保 隆敏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●施政方針について ・平成24年度予算について ・市債について ・リバースオークションについて ・行財政改革について ・防災について ・情報通信基盤の整備について ・男女共同参画について ・ごみ処理について ・地域福祉について ・道路整備について ・農業振興について ・小学校の統廃合について ・競輪事業について ・水道事業について ・ボランティア活動について
<p>市民フォーラム 友枝 俊陽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施政方針について ・平成24年度の予算編成について ●既存公共施設について ・公共施設建設の財源について ・災害時における教育施設の在り方について ・災害に強いまちの整備について ・地域における幼児期の学校教育・保育について ・子育て支援の充実について ・学校給食の民営化について ・行政評価システムについて ・商工観光について
<p>公明党 安藤 忠明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度予算について ・市債と税収の状況について ・合併特例債について ・公共施設について ・交通事故について ●がん検診について
<p>社会民主党 篠原 重寿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施政方針について ・財政運営について ●災害に強いまちづくりについて ・人員配置について ・学校給食について
<p>日本共産党 安藤 清高</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の政治姿勢について ・平成24年度予算編成について ・国民健康保険をいのちと健康を守る制度にすることについて ●介護保険を安心できる制度にすることについて ・国道・県道・市道の整備について ・防災対策について ・地域農業の支援対策について ・中学校の保健体育での武道必修化について ・新庁舎の建設について

質問

と

答弁

代表質問

民政クラブ

秋山 忠敏

学校再編計画について

質問 南部地域の柞田幼稚園は、柞田村時代の昭和28年に建てた園舎で築59年が経過し大変老朽化している。地域住民は、幼稚園の新設を強く望んでいるが、当局の見解を求める。

答弁 柞田幼稚園は、築59年が経過し老朽化が激しく施設管理に苦慮している一方、観音寺地区の拠点的幼稚園として、観音寺幼稚園とともに3歳児保育を行っており、新年度の園児総数は100人を超える予定となっている。また、就園率は旧市内で高い方であることから柞田幼稚園に対して、地域や保護者の期待は大きいと考えている。

国のこども園構想を見据えながら早期の建設にあたっての考え方や建設位置を決定していきたい。

市民クラブ

大久保 隆敏

施政方針について

質問 これからのまちづくりについて、現在本市の平均年齢は平成22年度の国勢調査によると47・8歳、香川県46・7歳、全国では45・0歳である。お隣の中国は35・5歳で27年前の昭和60年の35・7歳とほぼ同じである。少子化と高齢化が同時進行する人口減少社会に対応したまちづくりが求められているが、当局の考えを伺う。

答弁 人口減少は深刻な問題であり高齢者福祉、子育て支援をはじめ定住対策に努める。また、超少子高齢化時代に向け、市のサイズにあった市街地、徒歩や自転車移動できる生活圏を整備し、まちの核をつくっておくことが重要である。後々、新庁舎、新市民会館建設などのプロジェクトを

顧みたとき、決してあのときのまちづくりは間違っていないかったとの評価いただけるものと信じ、これらの施策を進めていく。

市民フォーラム

友枝 俊陽

既存公共施設について

質問 公共施設は、平成の大合併と人口減少などにより計画の見直しが迫られており、膨らむ維持管理コストをどのように対応していくのか、自治体の経営能力が求められている。①合併後の計画はあるのか。②各施設ごとの維持管理について把握しているのか。③施設を統合し複数の機能を持たせばコスト削減になるが、どのように考えているのか。④遊休施設を民間企業へ賃貸し、有効活用することも考えてはどうか。

答弁 平成23年度に集会機能を持つ52の施設について、現況調査を委託し3月末に完了見込みである。その結果を基に、将来を見据えた施設などの在り方を検討し、維持管理費の削減や施設の

有効活用にも努める。また、施設の台帳整備と統括的情報を把握した維持管理計画などを策定し効率的な運営管理を行い、民間での活用なども含め将来的な更新需要の抑制に努める。

公明党

安藤 忠明

がん検診について

質問 がんの罹患がよく聞かれる。国内での死亡率も第1位となっている。がん検診の現況についてお伺いする。

答弁 本市のがん検診の受診率は、平均的などころにあるものの、死亡者は約3割で226人を占めている。より多くの方々に受診してもらうためにがん検診希望申込書の封筒と案内書をカラー刷りにし、市民に送付早期発見早期治療を進めてがんによる死亡者を減少させ、健康でいきいきとした生活を支援していく。



議会報告会の開催について(ご案内)

今回は4カ所で開催しますので、都合の良い日には是非ご来場ください。

日時 5月15日(火) 午後7時～午後8時30分
場所 豊田公民館

日時 5月17日(木) 午後7時～午後8時30分
場所 豊浜中央公民館

日時 5月16日(水) 午後7時～午後8時30分
場所 大野原中央公民館

日時 5月18日(金) 午後7時～午後8時30分
場所 市民会館中ホール

内容 平成24年度予算及び主な事業と参加者の皆さまとの意見交換など

問合せ 議会事務局 電話 23-3913

社会民主党

篠原 重寿

災害に強いまちづくりについて

質問 市政の基本方針の一番に「市民の安心・安全確保」が最も重要な責務と示されている。

①災害対策で、ハード面には限界があり、自主防災組織の充実などのソフト面の対策が必要。県の自主防災強化事業（防災訓練、防災士資格取得、AED訓練資機材導入への支援など）の活用についての考え方。

②国の中央防災会議や県の地域防災計画が見直されているが、市の地域防災計画の見直しは。

③大規模災害で、市庁舎、職員に相当な被害を受けた時、行政の業務を継続させ、早急な復旧をする為の計画（業務継続計画）の策定が必要では。

答弁 ①正確な情報伝達の方策を検討し、県と連携をとって、自主防災組織の充実を図る。
②国・県の被害想定や上位計画が見直された時点で

実施したい。
③計画の必要性は認識しており、できるだけ早い時期に策定する。

日本共産党

安藤 清高

介護保険を安心できる制度にすることについて

質問 介護保険料（65歳以上）の改定が提案される。

月額で3,350円が4,700円となり1,350円の大幅な値上がりとなる。『今でも苦しいお年寄りの生活を圧迫する値上げは避けるべきだ』と主張して、介護保険料の引き上げを抑える取り組みを提案する。

特別養護老人ホームに入れない待機者は、調査によれば市内で90名である（H23・1・1現在）入所待機者の対策として、引き続き施設整備増床を求め対応を伺う。

答弁 現在では8段階で所得段階の保険料を設定しているが、さらに市民税非課税世帯の区分を1つ追加して、低所得者層の負担軽減を図るよう9段階の所得段階に設定する。今後は、国

に国庫負担割合の引き上げを要望する。入居者生活介護施設や小規模特別養護老人ホームを整備して早急に入所が必要な待機者のニーズに応えていきたい。

個人質問

詫間 茂

後期高齢者医療について

質問 平成22年度の後期高齢者の給付状況を見ると、非保険者数9,917人に対して年間医療費は97億円かかっている。

予防医学・介護予防に真剣に取り組んでいる長野県佐久市においては、同じ人口比で比較すると年間医療費は72億円で、観音寺市より25億円少ない額になっている。観音寺市の医療費は、全国でトップクラスの額になっている。元気なお年寄りを増やすことと、医療費削減のための具体的な方策について伺います。

答弁 国保だよりも、診療費や疾病分類・糖尿病予防や運動習慣のススメを掲載。健康づくりとスポーツに関する行事予定を作成し啓蒙

している。また、地域サロンのなお年寄が集える場所の確保に努め、市民の方々の健康増進、医療費の削減に努力していく。

井上 浩司

廃屋の行政としての取り組みについて

質問 廃屋の問題は、隣近所にすれば大きな問題であり、防災防犯上好ましくない。対応状況について伺います。

答弁 本年度の廃屋対応状況は、「危険家屋・廃屋など」に関する相談が14件あった。家屋の管理者は、市内に在住していない方がほとんどであり、電話・手紙などで「危険性がある家屋」と伝え、対策などをお願いしてきた。現在のところ10件については、改善されている。

緊急避難的な事務管理による対応は、所有者が不明の場合、行政も含めた第三者が他人の土地に勝手に入り、物理的な手を加えることは難しいと考えている。危険が予想される場合に、所有者がわかれば「適正な

大平 直昭

消防団の安全対策について

質問 東日本大震災で、岩手、宮城、福島消防団員の犠牲者は253人に上るため、国は、消防団の安全対策の強化と体制の立て直しを図るための「検討会」を昨年11月に立ち上げた。消防団の安全対策が必要だが、取り組みについて伺う。また、多くの自治体を取り組んでいる、団員の安全確保のための「活動マニュアル」の作成も必要と考えるがいかがか。

答弁 年間計画で、毎年、機関員教養訓練などにおいて、安全確保の研修を重ねている。また、全ての消防車両と副分団長以上の幹部に対して防災行政無線を配し、正確な情報を伝達して、災害現場などにおける安全を確保している。今後も三観広域南消防署と連携を図り、初任者教養訓練などで、安全対策に関する内容を盛

り込んで実施する。活動マニユアル作成については、総務省消防庁から、活動可能時間などの基準設定の要請が公表され、市においても、安全管理のためのルールを作っていく。

黒川 健太郎

市職員の管理職任命と職員研修について

質問 市の豊かなまちづくりの基本は人づくりであると考え、市役所の職員で3月末に退職者は何人いるのか、そのうち管理職は何人か何う。また、この人たちに代わる新しい昇任管理職の登用基準を何う。次に職員全員の資質を高めるためにどのような職員研修をするのか何う。

答弁 退職者数は41人で、そのうち管理職の退職は19人である。管理職の登用基準については、勤務評価の結果や仕事の実績、適正などを総合的に判断して登用を行っている。次に、職員研修については職員全員を対象とした研修のほか、香川県市町職員研修センターや市町村アカデミーなどへ

職員を派遣し、専門的知識や職責ごとに求められる能力の開発などの研修を行っている。

伊丹 準一

公共施設の運営について

質問 毎年5000人ずつの人口減少が懸念される本市において、市職員数は第二次行革大綱に示された定員削減計画に添い、実施されているが、公共施設については手付かずの状況である。

1市2町の合併の意義を考慮すると同時に、国交省『国土の長期展望』に示された施設維持費の後年度負担の倍増とを合わせると全公共施設285カ所の長期的利用計画を早急に作成し、過不足のない施設整備計画を長期振興計画などに示すべきではないか。

答弁 本市285カ所の公共施設は、利用者の利便を考慮して設置されており、一概に廃止、統合はできない。ただし、本年は52カ所についてその利便性をも含めた検証を行っている。他施設についても今後、統廃合を含めた整備計画を作っていく。

岡田 正徳

農業振興地域の見直しについて

質問 農業振興地域整備計画は、農業振興を図る地域を明らかにし、土地の農業上の有効利用と農業の近代化への施策を計画的に推進するため、10年後を見通した長期展望にたつて策定されている。今回、見直しを行った目的について何う。

答弁 農業振興地域整備計画は、合併前に策定されているため、本市農業の実態に即した計画となっていない。平成21年の農業振興地域の整備に関する法律の改正を受けて、県の農業振興地域整備方針が変更され、本市の計画に変更され、反映させる必要があった。

この見直しは、農地を積極的に確保、保全して農業振興施策を計画的かつ集中的に実施していく。また、限られた土地資源の合理的な利用を図るため、地域の発展に必要な都市的土地利用と農業的土地利用の調和のとれた土地利用を推進することを目的として行った。

石山 秀和

産業育成を目的とした市認証制度の創設について

質問 本市の特産品の多くは、これまで地元企業などが自助努力でローカルブランドを立ち上げてきた。農業分野の活性化無くして将来は無いと言っても過言ではない。そこで、農業の実情を良く知った上で、補助制度の紹介だけでなく、市独自の認証制度を設け認証された商品は流通業界に広くPRしていく。この繰り返しが商品の品数を増やし、モノづくりの励みになると考える。

今後、経済部が中心となり第六次産業育成に取り組みべきと思うが当局の考えを何う。

答弁 認証制度については、前向きに検討していく。自らトップセールスに赴き、基幹産業である農産物などのPR活動に努める。なお、六次産業化への取り組みについては、地域資源の活用を図るためにも積極的に推進する。

安藤 康次

学校給食の民営化について

質問 「行政サービスの提供は官で行う」という固定観念にとらわれず、「民間にできることは民間に委ねる」の視点から賛成である。

行政と民間の役割分担の見直しを行うことにより、サービスの質が今までより悪くならず、良くなることである。そのためには行政の民間委託の責任と関与の在り方が問われる。民間委託において委託者と受託者との緊密な連携についてお伺いする。

答弁 給食センターは、受託業者との間で、仕様書により業務履行基準などを定めている。これまでの直営の場合と同様に業務報告書の提出を受け、委託業務の履行状況を把握・確認できる体制をとる。学校栄養教諭が献立や調理内容を示す調理確認書を作成し、受託業者は、献立ごとに作業の工程表や作業動線図を作成する。具体的な調理内容についても打ち合わせを行い、緊密に情報を共有し連携をとっていく。

立石 隆男

防災対策について

質問 東日本大震災発生後、1年が経った。この大災害を教訓に、今後の防災対策や減災対策について①災害別避難所の設定状況。②避難ルート、避難対策。③避難困難者への対策。④出水・井戸の整備。⑤「防災マップ」改訂。以上5点について、当局の考えを伺う。

最後に、市民の安全を最優先に、施策の見直しや防災訓練、設備整備をお願いする。

答弁 ①台風風水害避難場所65カ所、この内地震津波時でも利用可能な所として22カ所、安全性に配慮し、状況に応じた避難所を開設する。②市も正確な情報を迅速に提供するが、周辺の状況や避難情報により、早めの避難をお願いしたい。③行政職員だけでは全ての救活活動ができないので、共助の支援体制を確立してほしい。④消火栓の補助水利として活用を協議していきたい。⑤中央防災会議などによる被害想定の見直し後、改訂作成を検討したい。

高橋 照雄

防災について

質問 本市には観音寺市地域防災計画がある。この中の震災編は平成17年度の香川県南海地震被害想定調査の結果である。現在、教育施設建設予定地クラボウ跡地は、この防災計画の中で津波による1m以上、2m未満の浸水予想地となっている。また、液状化危険度が高い区域にもなっている。教育施設建設にあたって防災上の問題解決のため、どのような地盤改良を計画しているのかお伺いする。

答弁 統合小学校の床面については、1mほど嵩上げして建築することとしている。液状化に対する補強方法として小学校校舎棟についてはコンクリート杭を安定した支持地盤まで施工する。次に幼稚園から小学校への避難路については、2種類の補強工法を検討している。より適した工法で実施したい。



五味 伸亮

フェイスブック、ツイッターの導入について

質問 1年間提案してきたが、ツイッター、フェイスブックの導入について、本市の姿勢を伺う。ツイッターの活用方法の提案としては、アカウントを2つ取得し、防災情報と観光情報に特化して活用すべきと考える。防災情報では、災害、防災情報や市内の注意報、警報などに限定し、観光情報は、イベントや面白い話題を拡散メリットの大きいものに絞って発信を行うアカウントとして活用すべきだと考える。そして、情報の母体となるホームページに誘導するような使い方を提案するが、今後の運用方法を伺う。

答弁 導入については、3月末を目途に運用開始を進める。提案いただいた情報発信方法については、観光情報と防災情報の2つを主とし、市のホームページと連携していくことを考えている。フェイスブックについては、ツイッターの円滑な運用を進める中で検討していく。

平成23年度 文教民生委員会の行政視察の報告

議会の活性化および議員活動に活かすことを目的に、下記の内容で先進地視察を実施しました。

日 時：平成23年11月8日～10日

場所・事項：熊本県宇土市（循環型介護予防システム）
福岡県筑後市（文化施設「サザンクス筑後」視察）
大分県日田市（文化施設「パトリア日田」視察）
福岡県古賀市（小・中学校2学期制について）
（市民聴講生制度について）

参加者：委員長 森谷政義
副委員長 伊丹準二
委員 岡田正徳、中村保男、楠井泰功
安藤忠明、立石隆男、五味伸亮



▲宇土市循環型介護予防教室



▲日田市役所

審議した議案等とその結果

●第1回（3月）定例会

議案名	審議結果
※市長提出議案	
観音寺市附属機関設置条例の制定について	原案可決
観音寺市職員定数条例の一部改正について	〃
観音寺市長及び副市長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市高齢者虐待防止地域連絡協議会設置条例の一部改正について	〃
観音寺市介護保険条例の一部改正について	原案可決（反対1人）
観音寺市営住宅条例の一部改正について	原案可決
観音寺市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	〃
観音寺市立図書館条例の一部改正について	〃
観音寺市立総合体育館条例の一部改正について	〃
三観広域行政組合の共同処理する事務の変更及び三観広域行政組合規約の一部変更について	〃
三観広域行政組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	〃
平成23年度観音寺市一般会計補正予算（第5号）	原案可決（反対1人）
平成23年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成23年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計補正予算（第1号）	〃
平成23年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
平成23年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	〃
平成24年度観音寺市一般会計予算	原案可決（反対5人）
平成24年度観音寺市競輪事業特別会計予算	原案可決
平成24年度観音寺市国民健康保険事業特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市介護保険事業特別会計予算	原案可決（反対1人）
平成24年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計予算	原案可決
平成24年度観音寺市航路事業特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市粟井財産区特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市公共下水道事業特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市農業集落排水事業特別会計予算	〃
平成24年度観音寺市水道事業会計予算	〃
副市長の選任について	同意
※請願	
J R三島・貨物会社に係る税制特例の恒久化等の請願	取り下げ承認
※陳情	
公財政支出による教育費の充実を求める意見書採択に関する陳情	不採択（賛成1人）
消費税によらない最低保障年金制度の創設にかかる意見書採択を求める陳情	継続審査
※意見書案	
早急な震災処理の完了とエネルギー政策の転換を求める意見書	原案否決（賛成11人）

市民フォーラム

「災害に強いまちづくり」が開催されました

2月18日（土）市議会主催の「災害に強いまちづくり」をテーマにした市民フォーラムが開催されました。当日は、雪の舞う寒い中たくさんの皆さまにご来場いただき、大変ありがとうございました。

市民フォーラムでの録画映像などを市のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

